

平成30年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

平成30年 10月 18日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 3世代キラリ交流会実行委員会
氏名 吉田 靖弘

平成30年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	3世代キラリ交流会	
取組の概要	<p>私たちは「心豊かな福田っ子の育成」を目指して、3世代キラリ交流会を実施しています。福田学区の子ども、大人、お年寄りが参加する交流会です。</p> <p>大人に教えてもらいながら書き初めをしたり、みんなでとんど祭りやもちつきを実施します。園児や児童は、大人やお年寄りにむけて肩もみもします。また、家族で学区を散歩するウォークラリーや中学生・小学生が参加するマラソン大会もあります。</p> <p>今回は実行委員会の構成を工夫し、より多くの人ややりがいを感じられるイベントになっています。『つながろう！福田』を合言葉に、交流を通して、地域の子ども・大人・お年寄りのつながりを強くしていきたいと考えています。</p>	
協働団体	<p>代表団体 3世代キラリ交流会実行委員会 福田学区連合町内会 福田学区の安全と安心を守る会・すこやか福田・福田学区体育協会 栄養改善協議会・健康づくり部会・愛育委員会・岡山市社会福祉協議会福田支部 岡山市南区西保健センター・福田地区青少年育成協議会・福田公民館 老人クラブ連合会・福田幼稚園PTA・福田小学校PTA・福田中学校PTA 福田中学校生徒会・福田幼稚園・福田小学校・福田中学校</p>	
取組の実施期間	始期：平成28年5月～	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 頃終了予定 <small>※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。</small>

●次の書類等を添付してください。

- ①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容
- ②〔様式2〕取組実施団体概要書
- ③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）
インターネット投票を行う際にエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。
- ④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（A4またはA3）1枚
シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）
- ⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内で添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	第3回 3世代キラリ交流会
平成30年度 募集テーマ	やりがいと豊かな暮らし SDGs 目標8：働きがいも経済成長も SDGs 目標11：住み続けられるまちづくりを
テーマとの関連	<p>◎テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。</p> <p>「3世代キラリ交流会」は、3回目を迎え地域に定着しつつある行事です。昨年度は約700名の方がとんどやもちつき、学区内ウォーキングなどを通して、子ども・大人・お年寄りの3世代が交流し、笑顔や会話のあふれる会になりました。今年度も3世代キラリ交流会を開催し、福田学区の良さや昔ながらの行事を次の人に伝え、人々のつながりを深めていきたいと考えています。</p> <p>今回はより一体感を持たせるために、大幅にタイムスケジュールを見直しました。それぞれの立場でより良いものになるようアイデアを出し合う姿からは、地域の横のつながりが感じられます。地域の子どもの中心に据え、保護者世代、お年寄り世代が様々な催しを通して交流を行うことで絆が深まり、どの世代にとっても暮らしやすい地域になると考えます。また、この行事を様々な団体が参画して企画・運営を行うことで地域の絆が深まり、より豊かな日々の暮らしへとつながっていくのを感じられます。</p> <p>「つながろう！福田」を合言葉に、3つの世代がより一層交流を深められるよう企画をしています。子どもは福田地域で健やかに「育ち」、大人は福田地域で「子育てをしたい」と思い、お年寄りは家族の枠を超えて、福田地域で「育てる」と、それぞれの世代が地域を愛し、暮らしやすいと思える一助になるような行事を目指しています。子どもからお年寄りまで、得意な分野を活かして力を発揮して、この交流会を実施することで、それぞれがやりがいを感じられるとともに一つの行事をみんなで作り上げる達成感を味わえると考えます。そして、自ら地域のために動き、さらに楽しく、大切にしようとする社会をつくっていきたくです。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>福田学区は1幼1小1中であるメリットをいかし、交流活動に参加する園児児童生徒も多くいます。地域でのイベントも多く、世代別の交流は盛んに行われています。しかし福田学区にはかつての田園風景を残す地区もあれば、宅地化が進み住宅街が広がり、近年新たに移り住んできた住民も増えてきました。さらにライフスタイルが変化する中で各世代間での交流が希薄化する傾向にあります。そのため福田学区では2年前から世代間の交流を目的とした3世代キラリ交流会を行っています。</p> <p>世代を超えた交流が生まれることにより、住みやすい福田学区をつくることができると考えます。「福田地域で育つ・福田地域で育てたい・福田地域で育てる」と3世代がそれぞれ思えるような地域を作るために、企画から運営まで3つの世代がそれぞれの立場から関わっていきます。そしてやりがいを感じられ、より3世代が繋がり、一体感のある行事にしたいと考えます。</p>
取組の内容	<p>◎取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 福田地区の住民・福田幼稚園・福田地区の保育園・福田小学校・福田中学校関係者等（約600名）</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とんど祭り（福田小学校PTA） とんどの準備・運営を行う。 ●もちつき・おしろこ・いも煮（福田中学校PTA・福田学区連合町内会【各団体を含む】・福田幼稚園PTA 福田小学校PTA） もちつきの準備・運営を行う。 ●ウォーキング（福田学区の安全と安心を守る会・すこやか福田・福田学区体育協会・福田幼稚園PTA 福田小学校PTA・福田中学校PTA） 福田学区内の4kmウォーキングの準備・運営を行う。 ●肩もみ（福田小学校） 小学生が地域の大人やお年寄りの肩もみを行う。 ●書き初め（福田中学校） 中学生が地域の名人さんの手助けをかりながら書き初め体験の準備・運営を行う。 ●マラソン（福田地区青少年育成協議会） 小学生高学年・中学生を対象にしたマラソン大会の準備・運営を行う。 ●会の進行（福田学区連合町内会・福田中学校生徒会・各参加団体代表） 開会式や閉会式の運営を行う。 <p>◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p>

	団体名	この取組で果たしている役割
協働団体とその役割	3世代キラリ交流会実行委員会 吉田 靖弘	全体のとりまとめ
	福田学区連合町内会 岩木 護	地域のお年寄りの方々への参加呼びかけ 地域とのつながりのサポート
	健康づくり部会 服部 和憲	ウォーキングの企画・運営
	福田学区青少年育成協議会 大野 春生	地域の人材紹介と各種イベントへの援助・助言 マラソンの企画・運営
	福田幼稚園PTA 井口 裕美	各イベントへの幼稚園児の参加呼びかけ 幼稚園児のイベント参加のサポート
	福田小学校PTA 福田 大輔	とんど祭りの企画・運営、いも煮の企画・運営 各種イベントへの協力
	福田中学校PTA 久山 篤史	もちつきの企画・運営 各種イベントへの協力
	福田中学校生徒会 福谷 元気	書き初めの企画・運営、開閉開式の企画・運営 各種イベントへの協力
	取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。 昨年の「第2回 3世代キラリ交流会」後、反省会を行って次回に向けてふりかえりをし、中学校生徒会からお年寄りまで、それぞれの視点で次回に向けてアイデアを出し合うことができました。特に「様々な団体が集まって、それぞれ催しをする」ところから、「一つのイベントを様々な団体が一体となって催す」という、より一体感を高めたいとの声がたくさん集まりました。そこで今年度は、それぞれの団体の責任者が集まり、子どもからお年寄りまで楽しめる行事にするためには、どのような催し、スケジュール、会場設備であればよいかを一から話し合い、準備を進めています。交流会の中でも、とんど祭りやもちつきなど昔ながらのイベントについては、地域にお住まいの詳しい方から準備段階から助言をいただき、とんど祭りの説明やもちつきのリハーサルにも積極的に協力していただきます。また、ウォーキングでは福田学区の良さをアピールできるようなコース設定を行い、幼稚園児も一緒に歩ける4kmのコースに絞ります。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。 「広がる交流と笑顔」を目指して 会場で行われている催しでも3世代が交流できるように、タイムスケジュールを大幅に見直します。ウォーキングや肩たたきのように、異世代が直接話したり触れ合ったりする時間、もちつきやとんどのように年長者の知恵を教わる時間、マラソンのように全体で一つの行事を見守り、応援する時間など、できるだけ多くの場面で幅広い交流が生まれるように工夫しました。交流から笑顔やつながりがうまれ、福田学区での暮らしに結び付くと考えます。</p>
成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多くの人が地域のために動くことの意義ややりがいを感じることができる。 600人を超える参加者が集まるこの交流会は、一人で成功させることはできません。福田学区に関わる立場の人が成功に向けて準備を進めていきます。それぞれの持つ力を合わせ、一つの会を成功させたときの達成感は言葉に尽くせません。この交流会を通して、子どもからお年寄りまで、多くの人が地域のために動くことの喜びを味わうことができると考えます。 ●保育園児・幼稚園児・小学生・中学生のつながりが強くなる。 継続的な交流により、子どもたちの縦のつながりがつよくなることが予想されます。昨年度も中学生が小学生にかきぞめを教える姿が見られ、中学校生徒からも「『ありがとう』と言ってもらってうれしかった」などの感想があがりました。子ども同士の異年齢交流が生まれることで、地域の中で子ども同士が助け合える関係が生まれたり、幼稚園・保育園から小学校へ、小学校から中学校へとスムーズに次のステップへ進めたりすることが期待できます。 ●子ども世代が他の世代とつながる。 様々な催しを通して、子どもたちが送っている普段の生活では関わることの少ない世代との交流が自然と生まれます。特に、もちつきやとんど祭りは地域の方々から教わりながら取り組むので、交流会が終わっても、子どもたちへの声掛けがしやすくなることが予想できます。 ●子どもたちのボランティアへの意識が高くなる。 子どもたちのボランティアへ参加の意志はもともと高く、普段から様々なイベントにも多数の子どもたちが協力しています。3世代キラリ交流会では、多くの大人やお年寄りの中で教えを受けて活動することで、さらに、教えてもらったことができるようになる喜びや、今度はそれを周りに伝えていく責任感を感じながら、活動ができると考えます。子ども世代に色々な仕事を任せることで、子ども自身もやりがいを感じる交流会になります。この交流会で培った力や思いが地域を愛する心を育み、地域の豊かな暮らしをつくっていく担い手になることを期待しています。 	

	<p>●大人世代とお年寄り世代の交流が深まる。</p> <p>大人世代は自分の子どもが育っている地域社会を深く理解でき、より安心して子育てができると考えます。様々なライフスタイルの中で、ともすると希薄化していた各世代間の交流が盛んになり、地域全体で子どもを育てていこうとする機運が高まることが期待できます。</p>
<p>今後の活動展開 など</p>	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <p>「第2回 3世代キラリ交流会」が終わってすぐから、ふりかえりを行い、第3回の実施に向けて準備を進めてきました。今年度は第3回を迎え、地域に定着しつつあるが、まだ参加する世代に偏りがあるなど、課題も毎年出てきます。その都度よりよいものにするために話し合い、『やってみる・やらせてみる』ことを繰り返し、何十年も続く行事にしていきたいと考えます。キラリ交流会に参加した子どもたちが今度は保護者となって参加すれば、各世代の縦のつながり、横のつながりをむすぶ一つの行事となると思います。</p> <p>地域の中で、子どもを中心に据えて、それぞれがやりがいを感じ、みんなで暮らしやすい街をつくっていく、その一助になることを目標にこの会を開催します。</p>

3世代キラリ交流会

福田学区の課題

- ・ 核家族化
- ・ ライフスタイルの多様化
- ・ 世代間のつながりの希薄化

代表団体: 3世代キラリ交流会実行委員会
協働団体: 福田学区連合町内会
福田学区の安全と安心を守る会
すこやか福田・福田学区体育協会
栄養改善協議会・健康づくり部会
愛育委員会・福田公民館
老人クラブ連合会
岡山市社会福祉協議会福田支部
岡山市南区西保健センター
福田地区青少年育成協議会
福田幼稚園PTA・福田幼稚園
福田小学校PTA・福田小学校・
福田中学校PTA・福田中学校
福田中学校生徒会

福田学区の子どもを中心とする活動に、大人、お年寄りが、関わることで、つながりを強くする。

【合言葉】

「つながろう！福田」

各世代がつながることで、子どもは福田地域で健やかに育ち、大人は福田地域で子育てをしたいと思い、そして福田学区の子どもを地域で育てる社会にしたい。

3世代が交流する行事を、3世代で企画・運営しようと平成28年度からスタートし、今年度で3回目となります。続けていくことで、地域の中で、世代の異なる人たちとの交流が深まり、将来、福田学区を愛する、守っていく人材が育っていくと考えます。

企画から運営まで、3つの世代が
関わりながら行う。

とんど



みんなで肩もみ



市民体操



もちつき



ウォーキング&マラソン



書き初め



様々なイベントが
行われる場を共有
することで生まれ
る3世代の交流

3世代キラリ交流会

地域みんなできひとつの行事を作っていく



もちつきリハーサル

事前に中学校生徒会にむけてもちつきをレクチャー。本番は生徒会も参加者に教える側へとまわります打ち合わせも中学生からお年寄りまで3世代そろって行います。

交流会当日

大人も子ども
朝早くから準備



まずはみんなで
市民体操！



3世代キラリ交流会
START!

開会式



かきぞめ



書いた作品はと
んどにくべます

地域の見所を
巡ります！



ウォーキング



もちつき
いも煮
おしるこ

子どもからお年寄りまで、みんな
で交代しながらもちつき！

マラソンの表彰を閉会式で行い
ます。昨年度は中学生の有志も
片づけに協力してくれました。



マラソン

「ありがとう！」
笑顔があふれます。



肩もみ

とんど

集まって、地域の方
のお話を聞きます。



閉会式

みんな
で片づけ

